

第3学年 教科(英語) 単元名「 The Story of Sadako 」

●単元(題材)の目標

- (1)現在分詞、過去分詞の用法を理解し活用できる。
- (2)身の回りの課題を見つけ、解決するための「理想の商品」紹介を通して、簡単な英語で事実や自分の考えを表現する力を身につける。

●指導計画(全 13 時間扱い)

【第1～4時】Input

- 現在分詞、過去分詞の意味や形、用法を理解する。
- 教科書本文やドリル教材、Talk & Talkを活用し、語彙や表現、文法の定着を図る。＜指導の個別化＞

【第5～7時】Intake

- Use ReadやTake Action Listen, Talkを通し、分詞を使った英文を聞いたり読んだりして内容を理解する。
- 語いや文法の定着度に応じた演習問題に取り組み、理解を深める。
＜指導の個別化、協働的な学び＞

【第8～13時】Output

- 「理想の商品」について考え、ペアで商品紹介を行う。
- 中間報告会を設定し、ペア同士の発表内容や表現技法を共有し、他者参照を通して学びを深める。
＜学習の個性化、協働的な学び＞

●単元(題材)における個別最適な学びと協働的な学びの具体化

個別最適な学び

＜指導の個別化＞

まなびポケットのドリルコンテンツ(eboard, iプ
リ)を使い、生徒は自身の定着度に合わせて演
習問題に取り組む。

英語の音声入力を活用し、自分が苦手な発音
などを客観的に把握し、Youglishなどを使って
自分で英語の発音を確認し調整する。

＜学習の個性化＞

自分の興味、関心に合わせて単元末の発表の
内容を決定する。

発表内容に応じて、既習事項と新出語いや
文法を取捨選択して活用する。

協働的な学び

＜協働的な学び＞

- ・Padletを活用し、単元末の活動の発表動画やアイデアを共有し、他者参照を行う。
- ・各クラス内のベストパフォーマーの発表を、Google meetで中継して共有し、今後の発表活動に向けて、学びを深める。

●個別最適な学びと協働的な学びの学習活動に応じたICTの活用

- ・Padletでの情報共有
- ・学びポケット(eboard iプリ)での問題演習
- ・音声入力アプリでのメタ認知

1. 題材名 「理想の商品紹介」

2. 授業のねらい

身の回りにある課題や問題、困っていることやあったらいいなと思う気持ちを解決するための理想の商品を開発し、商品紹介のプレゼンテーションを行う。

3. 指導過程

学習活動	指導上の工夫・留意点	学習活動の観点 (個別化・個性化・協働)
「理想の商品」の性能や機能、特徴などを学びポケットに打ち込む。(Step1)	事前にワークシートを使い、手を動かしながら「理想の商品」を考案した。 スムーズにStep2につなげる	個性化
他の人の「理想の商品」の特徴を見て、もっと知りたいことやいいなと思ったことなどをコメントする。(Step2)	より良いコメントは教員がクラス全体で共有する。 教員もコメントを行い、コメントではわかりきれなかったことなどは直接質問などしても良い。	個性化・協働
自分のスライドに届いたコメントを参考に、自分たちの原稿を改善する。(Step3) また、その原稿をもとに発表練習を行う、スライドを作成するなど、自分たちのペアに必要なことを各自判断して発表準備を進める。	教員は机間指導を行い、何をすれば良いか分からずに困っているペアに対し、随時助言を行う。	個性化・協働

※どの場面で、どのアプリケーションを利用するのかが分かるように記述してください。

4. 参考資料(使うアプリケーションや画面等)等

Step 1 自分たちの理想の商品について、情報を表にまとめよう。

ペア

商品名	
主な機能	
対象者 (どんな状況の人に 向けた商品?)	
商品の特徴 イチオシのポイント	
その他	

Step 2

他のペアの商品を見て、もっと知りたいこと、付け足すといいなと思ったことをコメントし合おう！



Step 3 他の人の商品や自分のスライドに届いたコメント、今日の活動を通して自分の原稿に活かそうなことをメモしよう！

自分たちの発表にどう生かす？